

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月17日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4697300020
法人名	社会福祉法人 恵誠会
事業所名	グループホーム 花神荘ひまわり
所在地	鹿児島県肝付郡肝付町後田2543番地1 (電話) 0994-65-7667
自己評価作成日	令和元年12月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年2月6日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム花神荘ひまわりは、周りに畑があり自然に囲まれたのどかな場所にあります。また近隣に食品や必需品を買い物できる店もあり、駐在所や歯医者もあり便利であります。またバス停も施設の前にあり交通の便も良いです。体調面では主治医の病院も町内にあり、定期的に訪問診察も行ないます。また突発的な診察もお願いでき、安心できる点であります。同敷地内には同系列のグループホームもあり、日中屋外と一緒に過ごす事も多いです。入居された皆様もゆっくりとした空間の中で、出来るだけ本人のペースで過せるように努めています。私達職員も生活の中で入居者の笑顔が少しでも多く見れるように努めています。季節ごとにホーム内のイベントも計画(花見、ドライブ、七夕、敬老会、クリスマス、初詣、節分など)も行なっています。そして地域の振興会の理解や協力も頂き、地域行事(十五夜、鬼火焚き)にも声を掛けて頂いています。今後も入居者・家族の皆様にグループホーム花神荘ひまわりに入所して良かったと言われるグループホームを目指してまいります。

- ・当事業所は、法人の特別養護老人ホームが母体である。隣接して同法人のグループホームがある。法人として複数の高齢者福祉事業を展開しており、法人内の連携や協力体制が整っている。敷地が広く住民に駐車場を開放している。
- ・地域の交流を大切にしている。地域振興会の回覧板にグループホームの「ホーム便り」を紹介してもらったり、地域の行事や花火大会・鬼火焚き等に交流している。法人の行事の夏祭りには出店があり地域の参加者が多く楽しいイベントになっている
- ・利用者が重度化になった時、母体法人特別養護老人ホームとの連携がとれ協力関係が築かれている。
- ・協力医療機関との24時間医療連携体制を構築し、本人や家族の安心につながっている。
- ・残存機能の保持・増進に努め趣味や特技の継続を支援している。音楽療法や外出支援・ドライブ・初詣等、遠方にも出かけメリハリのある暮らしを支援している。
- ・管理者を中心に職員のコミュニケーションが良く、利用者は明るく笑顔が見られる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者や家族の笑顔を大切に、優しさや思いやりのある介護支援をモットーに、また地域との輪を広げられるよう職員みんなで努めています。理念も事業所に貼り出勤時に確認できるようにし、定期的に確認し合っています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念で、事務所に掲示している。出勤時や職員会議で確認し振り返りを行い、ケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	月1回GH便りを近隣振興会長宅へ届け、振興会の回覧板などでGHの生活状況や活動を紹介し、また地域の活動などある時は連絡を下さり、十五夜や鬼火焚き等への参加の声を掛けて頂いています。また、GHの駐車場で地域の方が犬の散歩をされたり、気軽に駐車場としても使用して下さっています。	地域振興会から「グループホーム便り」を回覧で紹介してもらっている。地域行事の十五夜・鬼火焚き等に参加している。法人行事の夏祭りには、出店があり、地域住民も多くの参加がある。ホームの駐車場を地域住民に開放している。犬の散歩や通りがかりに声かけやあいさつを行い、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	面会に来られた地域の方や入所申込みに来た方等から介護について相談される事もあり、その都度分かりやすく説明するように心がけています。またGHでの皆さんの生活状況も見学して頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月に1回運営推進会議を行っており、入居者の生活状況や施設サービスの報告を行ない、また新しい事や分からない事の情報を報告し共有しています。</p>	<p>定期的に2ヶ月毎に開催している。利用者の状況・行事報告・ヒヤリハット・事故報告・身体拘束廃止委員会・感染症・外部評価結果報告等を行い、要望・助言を貰っている。待機者についての意見もあり、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>2か月に1回運営推進会で生活状況や行事・ヒヤリハット等の報告行い、助言や指導を頂く。また逆に質問も聞かれる事もありわかる部分はお答えさせて頂いています。介護保険等の手続きで役場に行った時にちょっとした事や質問等がある時は尋ねたり、報告行い連携に繋げています。</p>	<p>町の担当者とは、介護保険更新時や質問事項があった時に、窓口に出向いたり、電話で対応して貰っている。福祉課との連携もとっている。町主催の研修会には参加し、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関は日中鍵を開け、いつでも出入りが出来る様にし、好きな時に屋外に出かけています。身体ケアに関しても拘束になる事はせず、職員全員で身体拘束はしない心掛けて支援しています。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を2ヶ月に1回開催し、指針の整備も行っている。研修会を定期的実施し身体拘束しないケアを実践している。日中は玄関の施錠をしていない。外出希望の時は、職員が見守りや一緒に散歩し、拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人の研修やGHでの研修で虐待防止について話し合いを行なっています。支援の中でも虐待のないサービスに努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在対象者はいません。今後研修会等で行なっていきたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関する事項は家族が分かりやすく納得してもらえるように説明を心がけています。家族が心配される退所時も利用者の家族との関係が一切きれるわけではなく、いろんな点で協力させてもらう事の説明もしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会の説明の中で要望や意見を上げて頂き話を行ったり、アンケートも常時準備しています。また家族の面会時に何か要望等がないか常に来て下さった時は話を聞かせて頂いております。	利用者からはお茶を飲みながら話したり、夜勤時のゆっくりした時間に声かけして思いを把握している。家族からは、面会の時や家族会でアンケートを実施し把握している。申し送りノートに気づきも記録している。「周辺が暗い」との意見がありセンサーライトをつけて運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	研修会でも職員に意見や提案を上げてもらっています。また日常的に何か気づきがあると職員の声が聞かれるので、意見や提案を反映するように努めています。申し送りノートでも達し事項があれば確認し合っています。	毎月の職員会議や個別相談で、随時意見を聴いている。支援に関することが多く、帰宅願望者に対して・夜間のトイレ使用について・ドライブ希望等、利用者の思いを確認し職員間で共有し対応している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回勤務評価表にて従業員の評価を行っています。その評価が賞与や昇給に繋がる様に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修に参加し、研修に出ていない職員にも話や資料等で説明しています。普段の生活の中でも介護技術が不足している点があれば指導行なっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	知人の同業者の方と連絡も取り情報交換行い介護サービスについて参考にさせて頂いたりしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	顔を覚えて頂く事を念頭に置き、利用者の不安を少しでも減少させる事が出来ればと利用者より話を聞かせて頂き、利用者の安心感につながる様に努めています。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	家族の大半は、GHでの生活に慣れて怪我や病気等せず不安なく過す事を望まれることが多いです。その気持ちに添える様に入居者の支援に努めています。ご家族にも遠慮なく面会に来てくださる事をお話しています。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	利用者や家族に生活の中での希望を聞かせて頂き、必要な支援を確認し大事な点や対応方法ある時は確認して利用者のサービスに繋がられる様に努めています。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	一緒に過ごしていく中で、利用者の出来る事を把握し、無理のない範囲で洗濯物たたみや軽作業を一緒に行っています。散歩等したい事がある時は希望に沿って行なっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の方にも定期的に面会に来て下さり一緒に過ごす時間を持っています。その結果、GHでの生活状況を理解して下さっている部分が多いと考えています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者の方が希望が聞かれれば個別にドライブに行き、自宅周りを観たりして気分転換も図っています。	馴染みの人や場を把握し、受診後、職員が個別に家の周辺等にドライブしたり、家族の協力で墓参りや買い物に行くこともある。電話の取次ぎや携帯持参の方もいるので気配りしている。正月に外泊される利用者もいる。知人や理容師の訪問があり、馴染みの人や場の関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士で相性がいい・悪いもあります。入居者が孤立せぬ様に職員が間に入り関係性を少しでも持てる様に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	体調面で長期入院による退所された方でも、時々面会に行くように努めています。また、買い物時に家族の方と会う事もあり状況を確認するように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者のペースに合わせて過ごし、GHで過ごす中で話を聞かせて頂き、どのように過ごしたいか聞いたり、人に言いづらい事もないか、顔の表情など普段の中でも気をつけています。夜間帯に利用者がお話して下さる事もあります。その情報を職員で共有しています	夜勤時や入浴時に声かけして思いを把握している。「痛みをなくしたい」「家に帰りたい」「刺身を食べたい」等の要望がある。困難な場合は仕草や表情・言葉かけの工夫をして対応している。気づき帳に記録し職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に本人や家族に話を聞かせて頂き、また入居後でも普段の会話の中で自然と出てくる生活歴など以前の事を教えて頂き把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一緒に過ごす中で普段と違う点が見られた時は、特にみんなで気づけるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族・職員で担当者会議や面会時に話を聞かせて頂き、また主治医の往診時の意見を参考にしております。それらの言葉を大事にし、より良いケアが出来る様に介護計画を作成しています。	本人・家族・管理者・職員で担当者会議を開き、主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは6ヶ月毎に行い、状況に変化があった時は、その都度見直しして、現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々その日の記録担当者が中心になり記録を行ない、全職員が見る事で確認し合っています。いつもと違う事があった時は情報を職員同士で伝達し、必要な時は介護計画の見直しに繋げていけるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	「髪が切りたい・染めたい」話が聞かれた時は、入浴がある時に散髪などさせて頂いています。個人ドライブも行なっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物できるお店も多数あり便利です。駐車場も近くにあり「何かある時は連絡ください」と声を掛けて頂いています。また年に1回は消防署の立会いで避難訓練も行ない、職員や入居者へアドバイスして下さいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	GHでは利用者の皆様に、統一した協力医療機関があり、月2回訪問し診察行っています。診察時の主治医の言葉を家族にも定期的に伝えていきます。夜間等の緊急時の連絡体制も出来ています。	かかりつけ医は、本人・家族の希望を大切にして、協力医療機関が主治医になっている。訪問診療が月に2回ある。他科受診は家族が同行している。状況により、職員が付き添うこともある。受診結果は家族に報告している。24時間医療連携体制が整っており緊急時にも対応できる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>同系列のGHが同敷地内あるので協力医療機関の看護師が月4回は来られるので、何か尋ねたいことがある時は確認しアドバイスを頂いています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された時は利用者が少しでも安心して頂ければと定期的に面会に行き、病院先にもその都度、話を聞かせて頂き身体状態を確認していきたいと思います。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前に、GHに入所後、身体の上重度化があった時など、主治医の意見を参考に同系列の特養への移動をお願いするケースがある事を説明しています。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、入居時に本人・家族に説明して同意書を貰っている。契約の時、特別養護老人ホームへ申し込む方もいる。症状が重度化に伴い主治医が家族・管理者と話し合い、特別養護老人ホームか医療機関への転移を視野に入れ、家族の意向を確認しながら取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者一人一人の既往歴など確認する。また緊急時などの対応について、会議や随時必要な時に、その都度話を行なっています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難防災訓練を年2回行ない、消防署からもアドバイスを頂いており、同敷地内にあるGH花神荘連携を図っています。施設にもスプリンクラーも設置し、また近隣の振興会長とも火事など緊急時の対応についてもお願いしています。</p>	<p>避難訓練は、地震・火事を想定して年2回実施している。1回は消防署の指導を得て、1回は自主訓練である。避難経路・避難場所・緊急通報装置の確認をしている。消火器やスプリンクラーの設置もある。隣接のグループホームや地域振興会との連携もとっている。通報装置に特別養護老人ホームの職員も登録している。備蓄は特別養護老人ホームに水・ラーメン・缶詰等がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>プライバシーに気配りを行ない、利用者の人格を損ねない様に接しています。</p>	<p>接遇研修を実施している。一人ひとりの性格に合わせて気配りしている。排泄や入浴介助・入室時の声かけ・診察は居室で行っている。申し送りの時、職員間の声が利用者へ聞こえないように配慮する等、誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>まずは話を聞く事が第一と考え（言葉に出さない心の思いもきにしながら）、利用者の話を傾聴するように心がけています。入居者の意見や希望を聞いて、それに答えられる様に心掛けています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の考えを第一に、日課はありますが無理強いしないように心がけています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>衣服は本人の着たい服を着てもらおう。髪型は出来る方は自分でクシを通して頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日常生活の中で好きな食べ物・懐かしく食べてみたい物を聞かせて頂き調理したり、菜園で採った野菜を皆様にも成長の過程を散歩がてら見て頂き、喜んで頂く事もある。	嗜好調査で好き嫌いを把握し、個々に応じた食事形態で提供している。職員が献立表を作成している。行事食のおせち料理・節分・敬老会・クリスマス・誕生会のケーキ等、ご馳走メニューで喜ばれている。たけのこやつわの皮むき等、職員と一緒に楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分量を記録し身体の調子はどうか確認しています。水分補給の大切さを説明したり主治医の診察時に採血も行ない指導など受けています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は自分で口腔ケアできる方はして頂いています。支援が必要な方は嗽だけでもして頂く事もあります。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄時間を記録に残す事で排泄時間を把握し、必要な方はトイレ誘導行なっています。各食前・食後の排泄の声掛けも行なう。便秘がちなお方もおられ、水分補給や出来る範囲の運動も声を掛けさせて頂いています。	排泄チェック表で、個々の排泄パターンを把握している。声かけてトイレでの排泄を支援している。ポータブルトイレ利用者もいる。自立に向けた支援を行っており、自分でトイレでの排泄ができるようになった事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録を行ない便秘防止を図っています。食事・水分補給や運動の声掛けを行なっています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を行なっています。無理強いさせぬ様に心掛けています。体調不良で入浴が行えない時は清拭や足浴・更衣だけなど、その方に確認し行なっています。	入浴は好きな利用者が多い。脱衣所に暖房設備があり、隣接してトイレが設置されている。清拭や足浴にも対応している。嫌がる利用者には声かけの工夫をし、柔軟に対応している。入浴剤を使用し、入浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者が自室でのんびりしたい・ベッドで休みたい時などはお部屋でゆっくりして頂いています。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	診察後の薬の処方で、変更で新しい薬が処方された時は皆に説明しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々体操や歌・屋外散歩など行ない、また各季節の行事（ドライブ・花見・敬老会・クリスマスなど）は皆さんが喜んでいただけるように計画を立てています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気のいい日はみんなで外に出て外気浴を行ない、また気分転換のドライブも行なっています。（個人ドライブも）	その日の希望にそって散歩や外気浴を楽しんでいる。年間計画を作成し初詣・桜やコスモスの花見・遠い所へのドライブで公園や海の景色を見に行ったり、滝や丘に出かけて気分転換して喜ばれている。家族と外食に出かける利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で小遣い程度（1・2000円程度）のお金を管理している方はおられます。必要品をお願いされる時に買い物行なっています。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居者より依頼がある時は、電話を自由に利用してもらっています。携帯電話持参されている方も1名おられます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	GHの建物は段差がなく手すりを設置し、車椅子様にトイレもあります。リビングは天井も高く天窓もあります。入居者の方が過しやすいようにバリアフリーの作りとなっています。	共用空間は天井が高く明るい。加湿器や空気清浄機を設置し空気の流れがある。対面式の台所で対話ができる。調理のいい匂いや食欲を増して、家庭的な雰囲気である。ソファがあり、利用者の席も話ができるように配慮している。居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各居室にベット・クローゼット・ダンス・洗面台・クーラーは設置してあり、それぞれの方に自由に利用して頂けるようになっています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者や家族にお部屋を確認して頂き、それぞれが必要だと思われるものを持参して頂き、また居室の入居者が過しやすい様にテレビや棚など設置しています。	居室は広く、エアコン・洗面台・ダンス・クローゼット・机が設置してある。家から持ち込まれたテレビ・ダンス・写真・ラジオ・マツサージ機・家具が置かれ、居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内は移動しやすいように段差を作らず、手すりを設置しています。夜間に備えて自然電灯の設備も設置しています。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない